


令和8(2026)年度

審判員の目標 別添資料③

『ゲームマネジメント』
(3) 公平性・バランス

2025競技規則改訂…パッシブプレー



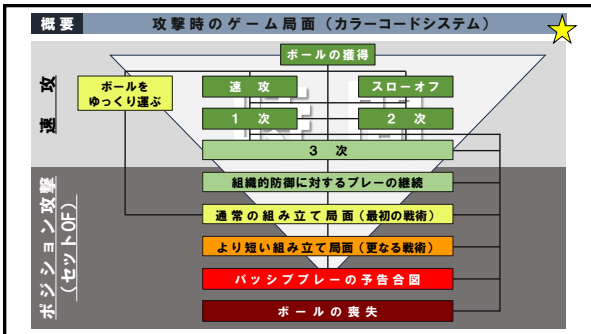
1

★

※ 本資料に提示する映像は、あくまで研修用であり、
**特定のチーム、レフェリー等を指導、否定する
ものではありません**

※ 本資料を、(公財)日本ハンドボール協会競技
審判本部の**許可なく、転載、複製、
転用等することは、ご遠慮ください**

2




3

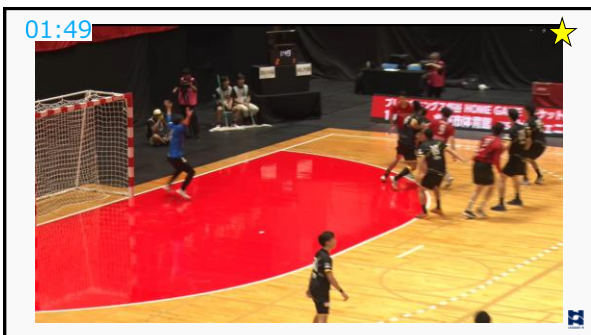
★

最初に映像を一つ、お見せします

あなたなら、**どのタイミングで**
パッシブプレーの予告合図を示しますか？



4



5



6

この状況で…レフェリーは ★



この根拠 … 説明できますか？

7

7 条 条 文 ★ P29

11 攻撃しよう、あるいはシュートしようという意図を示さずに、チームがボールを所持し続けることは許されない。同様に、自チームのスローオフやフリースロー、スローイン、ゴールキーパーズローの実施を繰り返し遅延することも許されない（競技規則解釈 4 を参照）。このようなパッシブプレーの兆候が続く場合には、パッシブプレーと見なし、原則として予告合図が示された後、相手チームにフリースローを判定する（13：1a）。
競技を中断したときにボールがあった場所から、フリースローを行う。

12 レフェリーはパッシブプレーの兆候を認識したとき、予告合図（ジェスチャー 17）を示す。これにより、ボールを所持しているチームはその所持を失わないように、攻撃方法を改める機会を得る。予告合図を出した後も、ボールを所持しているチームが攻撃方法を改めなかった場合、レフェリーはいつでもパッシブプレーの判定をすることができる。最大 4 回のパスの後、攻撃側チームがシュートをしなかった場合、つまり 5 回目のパスを味方のプレーヤーがキャッチした場合、相手チームにフリースローを与える（13：1a、競技規則解釈 4D の手順と例外を参照）。

8

解釈 4. パッシブプレー（7：11 ~ 12） ★ P85

A	概要	・目的	・状況	・パッシブプレーの観察	P85~87
B	予告合図の活用	1. ボール獲得後、ゆっくりとボールを運ぶ 2. 各種スローの実施を遅らせる 3. 通常の組み立て局面後の、遅れての交代 4. ポジション攻撃での、長い組み立て局面 5. 組み立て局面にける時間が長い際の観察基準			P87~96
C	予告合図の方法	・予告合図が続く状況 ・パッシブプレーの判断を白紙に戻す状況 ・予告合図を示す際のガイドライン			P96~97
D	予告合図のあと	・パスと見なされない状況 ・パスの最大回数に関して（付録1も参照）			P97~99
E	直接、パッシブプレーを判断できる特別な状況	1. 明らかな得点チャンスの放棄 2. ウィングポジションからのシュート 3. 相手陣内でのマンツーマン防御			P99~100

9

消極的な行為が起こりやすい状況 ★ P86

- # 競技の終盤、**僅差**の試合
- # 自チームに**退場者**がいる（5vs6、4vs6 など）
- # **ゴールキーパー不在**（7vs6、6vs6 など）
- # **積極的な防御活動**によって攻撃がうまくいかない
- # 両チームの**パフォーマンスレベルに差**がある
- # 一方のチームが、**攻撃活動を失敗し続けている**

10

傾向の認識と評価 ★ P86

ボールの獲得から所持を失うまで、攻撃側チームのあらゆる要素に対して、様々な観察基準を適用させる

【攻撃局面】

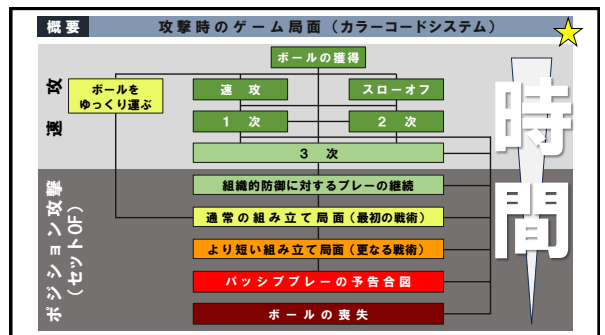
1~3次速攻
クイックスローオフ
ポジション攻撃
(通常、立て直した後)
など

X

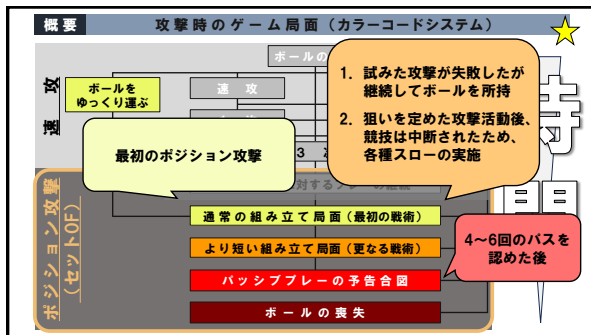
【起こりやすい状況】

終盤 僅差 退場者
ゴールキーパー不在
積極的な防御活動
レベルに差
攻撃活動の失敗 など

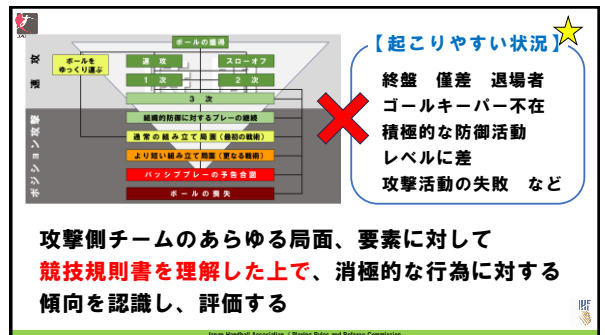
11



12



13



14

攻撃側チームのあらゆる局面、要素に対して
競技規則書を理解した上で、消極的な行為に対する
傾向を認識し、評価する

1) 一般的な基準 (競技規則 7: 11-12、競技規則解釈 4)

予告合図を示すためには、**消極的な行為を明確に**認識できる必要がある

15

獲得 ~ 通常の組み立て局面の終了まで

16

ゆっくりとしたボール運び + 通常の組み立て局面

- 攻撃側チームは**ゆっくりとした**ボール運びの後、とても短い**通常の組み立て局面**により、最初の攻撃 (ピボットと右のウィングのクロスからのダブルポスト) を開始。
- 左バックのシュートは、**防御側プレーヤー**の接触により防がれた。

17

より短い組み立て局面とは

18

より短い組み立て局面



- より短い組み立て局面において4回目からバックコートとのクロスにより、**攻撃のペースに変化があった。**
- 2名の防御側プレイヤーは接触によって、ピボットの突破を防いでいる。

19

より短い組み立て局面



- フリースローからすぐに、センターバックと左バックのクロスを実施。
- 左バックはシュートを狙うも、防御側プレイヤーに正面から阻止されている。

20

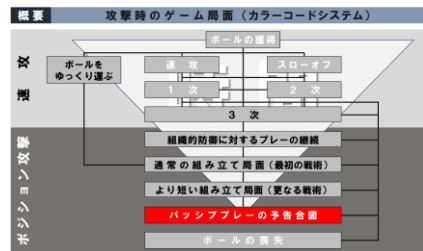
より短い組み立て局面



- 再度、フリースローを実施。スロー実施直後に打ったシュートは、防御側プレイヤーによってブロックされ、スローインとなった。

21

予告合図を示す



22

パッシブプレーの予告合図



- スローインによる、センターバックへのパスで、パッシブプレーの予告合図を示した。
- フリースローによる**度重なる中断**（この攻撃で4回）も、**消極的な行為を判断する材料**となり得る。
- ただし、このタイミングで消極的な行為を認識するのは難しい。
- 組み立て局面にかかる時間が長すぎる状況を認識できない

23

IHFガイドライン：

P93

映像の状況において、**予告合図を示す必要ない。**

同一チームが一度の攻撃において、2つ以上のより短い組み立て局面を必要とする場合、次の狙いを定めた攻撃活動へ移行する際には、「4~6回」のパスを下回る可能性がある。

ただしいずれの場合においても、攻撃側チームがスローの実施を遅らせていない限り、レフェリーは**少なくとも3回のパスを**、より短い組み立て局面において認めるべきである。

24

2) 一般的な基準

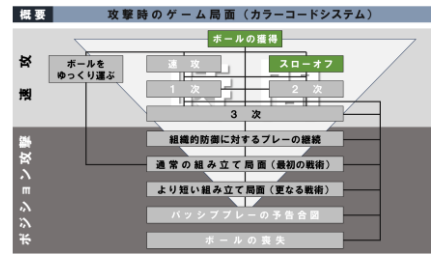
(競技規則 7:11-12、競技規則解釈 4)



チームにバスマスが発生した際の判断基準

25

獲得 ~ 速攻 (スローオフ) の実施



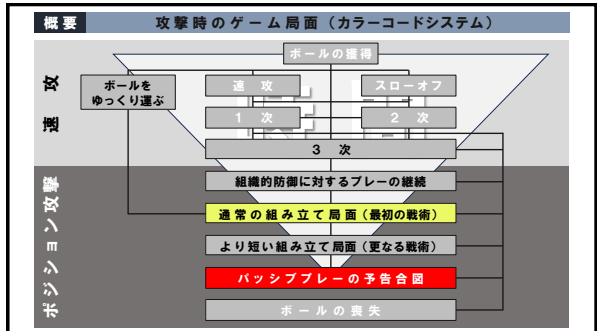
26

ボールの獲得 ~ 速攻



- クイックスローオフ後、攻撃側チームはピボットとの連携により、得点の機会を生み出そうとしている。
- その後実施される、**フリースローの実施から通常の組み立て局面が始まる。**

27



28

通常の組み立て局面から



- センターバックは、すぐに右側で数的優位な状況を作ろうと考え攻撃を行うが、左バックは、落ち着いて展開しようとしている。
- さらにパスは、うまくつながらず、自陣側まで弾んでいった。
- このタイミングで、予告合図を示した。

29

IHFガイドライン :

P89



映像では、バスマスが行われる時点までは、**パッシブプレー**に関する傾向は見られない。にも関わらずレフェリーは、それ以前の**攻撃側チームの振る舞いを基準に適用することなく**、早すぎる予告合図を示した。

バスマスが、必ずしも直接、予告合図を示すことにつながるわけではない

30

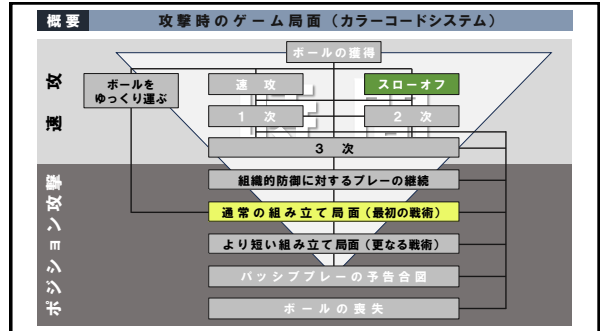
3) 通常の組み立て局面

(競技規則 7:11-12、競技規則解釈 4)



通常の組み立てが長すぎるケース
状況：攻撃側チームは、3点リードしている

31



32

通常の組み立て局面



- クイックスローオフは、すぐに止められた。
- プレーヤーの交代がとても遅い。
- 組み立て局面で、ゆっくりとプレーしている。
- ペースを変えずに攻撃を開始している。
- 右のウィングプレーヤーがポストに入ってきた。

33

通常の組み立て局面



- ウィングプレーヤーは、ゴール方向へシュートを狙うような素振りはなく、すぐに味方のプレーヤーへパスを出している。
- その際、防御側プレーヤーの一人が、パスや空間の利用を積極的に封じている。

34

IHFガイドライン：

P92



- 予告合図は、適切な状況で示されている：
- ※ 適切な状況とは、右バックのプレーヤーからセンターバックのプレーヤーへ、パスが戻された時

35

4) より短い組み立て局面

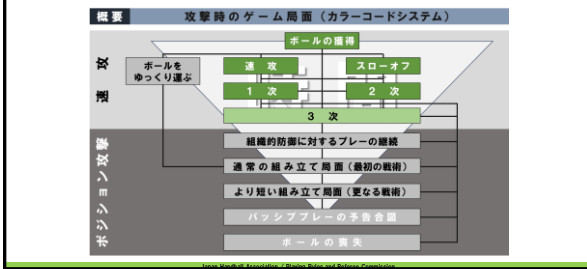
(競技規則 7:11-12、競技規則解釈 4)



複数のより短い組み立て局面が発生した際の
予告合図を示すタイミング

36

獲得 ~ 速攻終了まで



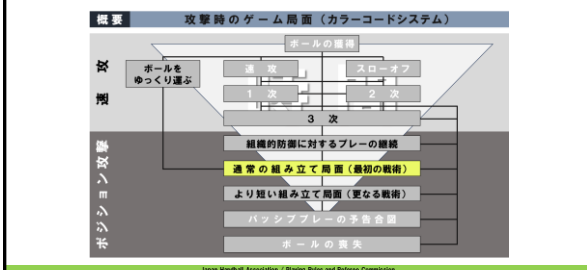
37

ボールの獲得 ~ 速攻

- 速攻によって攻撃側チームは、得点の機会を生み出そうとしているが、防衛側プレーヤーからの接触によって、速攻は妨害された。
- その後、通常の組み立て局面が始まる。

38

通常の組み立て局面



39

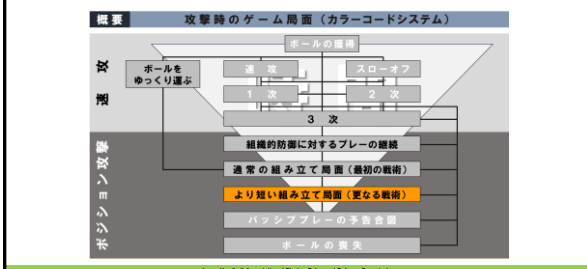
通常の組み立て局面

Normal build-up phase

- ピボットプレーヤーとセンターバックを交代。
- ポジションを移動することで突破を試みるものの防衛側プレーヤーによって、この局面は止められた。
- レフェリーは、フリースローを判定する。

40

より短い組み立て局面の開始



41


より短い組み立て局面

Shorter build-up phase

- フリースローの実施から4回目のパスで、予告合図を示している。
- ただしこの予告合図は、右バックのプレーヤーが攻撃のペースを変え、ゴールの方向へ狙いを定めた攻撃活動を開始した際に示されている。

42

IHFガイドライン : P89




予告合図を示すタイミングは、**早すぎる**

- 攻撃側チームが、明らかに狙いを定め相手チームのゴール方向へと動いている間
- 戦術は、攻撃のペースが上がったときに始まる

予告合図は、狙いを定めた攻撃活動を始めた際に示すべきではない

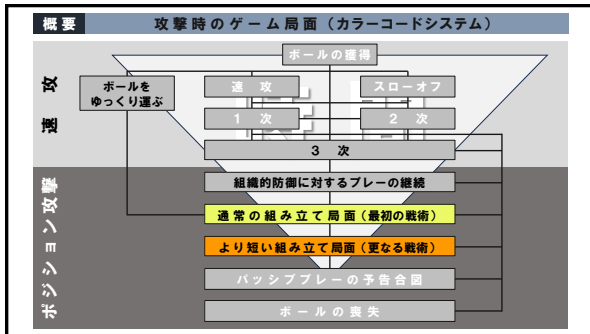
43

5) より短い組み立て局面
(競技規則 7: 11-12、競技規則解釈 4)



より短い組み立て局面に入ってから、予告合図が示されるまで

44



45


より短い組み立て局面まで



■ フリースローの実施から2回目のパスですぐに、予告合図を示している。

46

IHFガイドライン : P93




予告合図を示すタイミングは、**早すぎる**

より短い組み立て局面において、**4~6回のパスの後に、攻撃側チームは、攻撃のペースを上げて、次の攻撃活動を始めなければならない。**

ただし、この「4~6回」のパスの数はあくまでも目安であり、レフェリーはこのパスをカウントするべきではない。

47

以上を踏まえると... ★



▶

「これからより短い組み立て局面」「挙げるよ、はいっ」などと、**通信機器**を用いながら、**ヘアで正しく捉えること**
→ 一貫した判定、特別な状況でも正しく判定

48



★

最後に

- 競技中における**無意味な局面の減少**
- **魅力に欠ける展開や意図的な遅延を、競技から排除**
- 競技の**中断回数**の減少
- 防御側チームの、**積極的な防御活動**を促進（評価）

スピーディーなゲーム展開

➡ **バランスの取れた攻防を伴う魅力あふれる競技**
ハンドボールの未来へつなげていく

52

★

※ 研修でご紹介できなかった内容を含め、
 本プレゼン資料は、今後、**動画に変換し、
 皆様への共有を予定**しています。
 今回紹介した内容、紹介できなかった内容を含め、
共有可能となりましたら、**ご自身の吹笛などに
 適宜、ご活用いただけますと幸いです。**

53